

大阪府立金岡高校校舎改修に伴うアスベスト飛散  
事故についての保護者・近隣住民代表者 協議  
(講演ほか)

平成 25 年 4 月

大阪府立金岡高等学校  
大阪府教育委員会事務局施設財務課

日時：平成 25 年 4 月 13 日（土）午後 3 時から午後 5 時 30 分まで

場所：金岡高等学校 会議室

#### 出席者

講演者：内山京都大学名誉教授

代表：保護者・近隣住民代表の方々

学校：学校関係者（児玉校長、川崎教頭、永吉事務長）

大阪府：教育委員会関係者

（福本課長、岸本課長補佐、黒田課長補佐、羽柴課長補佐、下窪補佐、宮崎副主査）

### 第一部

#### 【内山名誉教授 講演の質疑応答】

個人等が特定される箇所は「■■■」とする。

質問	■■■の事例でどの範囲（地域）まで影響があったのか教えてください。
回答	■■■の場合は室内でしたので、近隣の方は範囲に入っておりません。近隣の方には、10-6 乗以下のリスクである旨を説明し、了承してもらった。健康診断及びフォローの対象は、園児と職員のみである。100m 離れていれば 1/10 以下に拡散される。
質問	10-5 乗の数値は当時を再現した時の値でしょうか？
回答	1 日の保育がおおよそ 10 時間ですので、10 時間そこにいた時にどれだけ吸ったかを生涯ばく露量と仮定して計算しています。詳細必要であれば文京区のホームページに計算方法等ありますので確認して下さい。
質問	飛散当時の状況が分からなかったのが、再現したという事ですね。金岡高校も囲い込んでいるところを除去の際に再現ができ、リスク評価が可能という事でしょうか？
回答	作業員のヒアリングを行い、まだ残っているところがあれば、再現するという事は可能だと思います。
質問	全部では無く一部分でも可能という事でしょうか。
回答	一部を再現して、そこから全体を推計することは可能です。
質問	ヒアリングの結果は、行政が業者に聞き取りを行った結果でしょうか。
回答	検討委員会の方で、実際、作業を行った方にヒアリングを行った結果です。
質問	検討委員会の方が工法であるとか、業者の選定について関わっていたのでしょうか？
回答	業者の選定には全く関わっていません。除去作業の方法は、当時よりも厳しく徹底されていますので、委員会が推薦しなくてもやり方がキッチリしているところを選定すれば、問題ないと思います。再現実験の時は、委員会が入ってこういう作業をして欲しいというような、交渉はしていました。ただ、選定は行政の方で行っていました。
質問	検討委員会の回数は？

回答	詳しい回数はここでは不明です。
質問	本事案のような学校改修の検討委員会は他ではあるのですか？
回答	■■■の■■■が今でもダウンロード可能です。閲覧可能です。

## 第二部

### 委員選出の状況について

#### ○主な意見

(府) 公衆衛生の研究者、建築工学の研究者、アスベストの飛散に関する研究者、臨床の方の大きく4部門で先生を探している。

(府) 候補者リストを元に調整してく予定である。

(代表) 保護者、近隣代表からの候補者の5名は調整済みである。

(府) 5月末を目途に協議会の立ち上げを目標とするが、委員選出の都合上遅れることもある。

(府) 協議会は公開で行う。

(文責) 大阪府教育員会施設財務課

#### <問合せ先>

大阪府教育委員会施設財務課

TEL 06 (6941) 0351 (代) FAX 06 (6944) 6900

Email [shisetsuzaimu@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:shisetsuzaimu@sbox.pref.osaka.lg.jp)

[技術管理グループ 岸本・宮崎 \(内\) 3551](#)

[施設管理グループ 黒田・川村 \(内\) 3455](#)

※内容に疑義がある場合及び、会議内容の詳細を希望される場合は、上記に問い合わせください。